



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月8日
東

玉井商船

上場会社名 玉井商船株式会社 上場取引所
 コード番号 9127 URL <http://www.tamaiship.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐野 展雄
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 木原 豊 (TEL) 03-5439-0260
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	3,346	△4.7	136	—	87	—	537	—
25年3月期第2四半期	3,512	5.6	△28	—	△108	—	△106	—

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 622百万円(—%) 25年3月期第2四半期 △154百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	27.85	—
25年3月期第2四半期	△5.51	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	15,492	5,649	35.4
25年3月期	13,826	5,028	35.2

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 5,482百万円 25年3月期 4,866百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	—	—	0.00	0.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

・26年3月期期末配当予想額は、現時点では引続き未定です。

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,200	8.8	190	—	60	—	550	—	28.48

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

26年3月期2Q	19,320,000株	25年3月期	19,320,000株
26年3月期2Q	10,941株	25年3月期	10,941株
26年3月期2Q	19,309,059株	25年3月期2Q	19,309,981株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

26年3月期期末配当につきましては、現時点で引続き未定とさせていただき、今後の業績推移や事業環境などを勘案した上で、予想可能と判断されるに至った時点で、あらためてお知らせすることとさせていただきます。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国やわが国で緩やかな景気拡大が続き、欧州では債務危機で低迷していた経済がようやく緩やかに持ち直した一方、中国やインドなど新興国では政府の過剰投資抑制策などから景気減速の動きが広がり、世界経済の先行きは不透明な状態が続きました。わが国経済は、政府・日銀による積極的な財政・金融政策により円安・株高が進行し企業収益も改善の動きが見られ景況感は徐々に回復してきました。

外航ドライバルク船の海運市況は、船腹の供給過多により拡大した需給ギャップの解消には未だ至らず低迷しましたが、夏場を過ぎた頃からケープサイズ型でブラジル積み極東揚げの鉄鉱石輸送が増加に転じ、パナマックス型でも北米積み新穀の出荷や豪州積み石炭輸送が増加したことなどから市況は一時的に好転しました。徐々に新造船の竣工隻数は減少していますが、市況の本格的な回復までにはもう少し時間がかかるものと思われます。

このような状況下、当社グループの外航海運部門では、ハンディマックス船型を中心に堅実な営業活動を行い、減速航海や太平洋と大西洋を結ぶトランスオーシャン配船を積極的に進め空船航海を極力減らし運航コスト削減を行い採算の安定化と向上を図りました。また、これまで北米から日本への穀物輸送に就航していました「NIKKEI TIGER」を5月31日に海外売船し、代替新造船「NIKKEI SIRIUS」を6月7日に就航させ支配船腹の増強を図りました。この結果、市況の本格的な回復には至っていないものの、前第2四半期連結累計期間に比べ対米ドルの円為替レートが1ドル約20円安い98円前後で安定的に推移したことや燃料油価格が1トン当たり約50ドル安い約640ドル前後に値下がりしたことなどから各航海の採算は改善され増収・増益となりました。一方、内航海運部門では、ドライ貨物で輸送量が僅かに増えたものの、営業収益及び利益の大部分を占めていた「羽衣丸」を前連結会計年度の1月に海外売船し、「第二にちあす丸」を5月22日に海外売船したことで大幅な減収・減益となりました。当社グループ全体では、前第2四半期連結累計期間に比べ、営業収益は減収となりましたが、「NIKKEI TIGER」及び「第二にちあす丸」の売船益により最終利益となりました。

この結果、営業収益は3,346百万円(対前第2四半期連結累計期間比△165百万円、4.7%減)、営業利益は136百万円(前第2四半期連結累計期間28百万円の営業損失)、経常利益は87百万円(前第2四半期連結累計期間108百万円の経常損失)、また四半期純利益は537百万円(前第2四半期連結累計期間106百万円の四半期純損失)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。なお、前第3四半期連結累計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、前第2四半期連結累計期間との比較は変更後の区分により作成した情報に基づいて記載しております。

・外航海運業

支配船舶による北米からの輸入穀物や南米からの水酸化アルミや海外へのスラグなどの輸送を行い、運航採算の向上に努めるとともに、一部支配船舶の短期貸船により安定収益の確保を図りました。

営業収益は、前第2四半期連結累計期間に比べ、短期貸船を行ったことにより航海数は減ったものの、市況の回復や円安による影響などにより、3,014百万円(対前第2四半期連結累計期間比169百万円、5.9%増)となりました。営業費用は、所有船の入渠や減価償却費の増加により船費は増加したものの、航海数の減少や燃料油価格が下落したことなどにより運航費の減少が大きく、全体として減少しました。以上の結果、営業利益は、418百万円(同288百万円、220.6%増)となりました。

・内航海運業

定期用船2隻による水酸化アルミなどの輸送を行い、安全輸送と効率配船に努めるとともに、所有船1隻の定期貸船により安定収益の確保を図りました。

営業収益は、前第2四半期連結累計期間に比べ、ドライ貨物で輸送量は僅かに増えたものの、営業収益及び利益の大部分を占めていた「羽衣丸」を前連結会計年度の1月に売船し、また「第二にちあす丸」を5月22日に海外売船したことなどにより、258百万円（対前第2四半期連結累計期間比△335百万円、56.5%減）となりました。営業利益面では、所有船の減少で船費等が減少しましたが、営業収益の大幅な減収で44百万円の営業損失（前第2四半期連結累計期間83百万円の営業利益）となりました。

・不動産賃貸業

不動産賃貸業においては、営業収益は、73百万円（対前第2四半期連結累計期間比0百万円、1.2%増）、営業利益は、26百万円（同5百万円、26.6%増）となりました。

（注）営業利益は配賦不能営業費用（263百万円）控除前のものです。

（2）財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ1,665百万円増加し、15,492百万円となりました。主な内容は、流動資産が主に現金及び預金やその他流動資産の減少などにより332百万円減少し、固定資産は、主に船舶の取得などで1,998百万円増加したことによるものです。負債は9,842百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,044百万円の増加となりました。これは、1年内返済予定の長期借入金、未払法人税等などによる流動負債の増加が15百万円、長期借入金、繰延税金負債の増加などによる固定負債が1,029百万円増加したものであります。

純資産は、四半期純利益による株主資本の増加537百万円とその他有価証券評価差額金の増加によるその他の包括利益累計額の増加78百万円と少数株主持分の増加4百万円により、前連結会計年度末に比べ621百万円増加し、5,649百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の期末残高は、営業活動の結果得られた資金301百万円、投資活動の結果使用した資金1,527百万円、財務活動の結果得られた資金889百万円などを加減した結果、前連結会計年度末に比べ312百万円減少し、1,549百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果得られた資金は、301百万円（前第2四半期連結累計期間比90百万円の収入増）です。これは、税金等調整前四半期純利益841百万円が計上されているうえに、減価償却費468百万円などの非資金費用の調整などがあり、支払利息74百万円、その他の資産の減少額60百万円などの増加項目に、有形固定資産売却益754百万円、たな卸資産の増加額120百万円などの減少項目を加減した結果によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は、1,527百万円（前第2四半期連結累計期間比1,503百万円の支出増）です。これは、主に船舶の取得に伴う有形固定資産の取得による支出2,432百万円、船舶の売却に伴う有形固定資産の売却による収入903百万円などによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果得られた資金は、889百万円です。（前第2四半期連結累計期間において使用した資金は358百万円）です。これは、主に長期借入れによる収入1,277百万円、長期借入金の返済による支出355百万円、支払手数料21百万円などによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第3四半期連結会計期間以降における業績予想の見直しを行った結果、平成25年8月9日付当社「平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）」にて発表いたしました平成26年3月期の通期の連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日別途開示する「平成26年3月期第2四半期（累計）業績予想との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、第3四半期以降の為替レート及び燃料油価格は下記の通り想定しております。

	前回予想 (平成25年8月9日公表)	今回予想 (平成25年11月8日公表)
期中平均為替レート 予想燃料油価格	1US\$=98円 US\$650/MT	1US\$=98円 US\$640/MT

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,862,533	1,649,789
海運業未収金	171,721	145,240
貯蔵品	321,944	442,885
繰延税金資産	84,310	33,188
その他流動資産	352,195	189,397
流動資産合計	2,792,705	2,460,501
固定資産		
有形固定資産		
船舶（純額）	8,168,482	10,659,643
建物（純額）	310,290	310,966
器具及び備品（純額）	7,601	6,428
土地	168,938	168,938
建設仮勘定	1,538,894	866,785
その他有形固定資産（純額）	5,316	3,624
有形固定資産合計	10,199,524	12,016,387
無形固定資産		
	3,806	3,166
投資その他の資産		
投資有価証券	590,497	717,029
繰延税金資産	164,273	223,946
その他長期資産	75,474	71,201
投資その他の資産合計	830,245	1,012,177
固定資産合計	11,033,576	13,031,731
資産合計	13,826,281	15,492,232

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
海運業未払金	264,415	256,816
短期借入金	30,000	20,000
1年内返済予定の長期借入金	669,100	819,800
未払法人税等	10,408	63,753
前受金	330,001	243,949
賞与引当金	33,047	27,872
その他流動負債	162,948	82,849
流動負債合計	1,499,921	1,515,041
固定負債		
長期借入金	6,498,032	7,270,188
繰延税金負債	460,554	749,929
退職給付引当金	44,916	36,361
特別修繕引当金	97,607	74,207
長期未払金	71,200	71,200
資産除去債務	12,096	12,197
その他固定負債	113,385	113,416
固定負債合計	7,297,791	8,327,499
負債合計	8,797,713	9,842,541
純資産の部		
株主資本		
資本金	702,000	702,000
資本剰余金	280,268	280,268
利益剰余金	3,805,347	4,343,141
自己株式	△1,312	△1,312
株主資本合計	4,786,303	5,324,097
その他の包括利益累計額		
その他の有価証券評価差額金	79,871	158,561
その他の包括利益累計額合計	79,871	158,561
少数株主持分	162,393	167,032
純資産合計	5,028,568	5,649,691
負債純資産合計	13,826,281	15,492,232

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
海運業収益	3,439,515	3,273,069
海運業費用	3,222,282	2,893,827
海運業利益	217,232	379,241
その他事業収益	72,688	73,575
その他事業費用	20,878	18,438
その他事業利益	51,809	55,137
営業総利益	269,042	434,378
一般管理費	297,789	297,627
営業利益又は営業損失(△)	△28,746	136,750
営業外収益		
受取利息	328	287
受取配当金	7,881	8,946
為替差益	—	22,723
保険解約返戻金	19,935	—
その他営業外収益	11,852	8,735
営業外収益合計	39,998	40,694
営業外費用		
支払利息	72,375	74,907
支払手数料	17,639	10,529
為替差損	28,874	—
その他営業外費用	1,005	4,157
営業外費用合計	119,895	89,594
経常利益又は経常損失(△)	△108,643	87,850
特別利益		
固定資産売却益	—	754,094
特別利益合計	—	754,094
特別損失		
投資有価証券評価損	52,693	—
ゴルフ会員権売却損	—	184
特別損失合計	52,693	184
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△161,336	841,760
法人税、住民税及び事業税	1,814	63,067
法人税等調整額	△56,912	238,697
法人税等合計	△55,097	301,764
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△106,238	539,996
少数株主利益	232	2,201
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△106,470	537,794

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△106,238	539,996
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△48,343	82,606
その他の包括利益合計	△48,343	82,606
四半期包括利益	△154,581	622,603
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△153,116	616,484
少数株主に係る四半期包括利益	△1,465	6,118

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△161,336	841,760
減価償却費	446,347	468,521
賞与引当金の増減額(△は減少)	△2,186	△5,175
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△8,800	—
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△6,870	△8,554
特別修繕引当金の増減額(△は減少)	△85,585	△23,400
受取利息及び受取配当金	△8,210	△9,234
支払利息	72,375	74,907
支払手数料	17,639	10,529
為替差損益(△は益)	30,737	△23,618
有形固定資産売却損益(△は益)	—	△754,094
投資有価証券評価損益(△は益)	52,693	—
売上債権の増減額(△は増加)	46,904	26,480
たな卸資産の増減額(△は増加)	△3,389	△120,940
その他の資産の増減額(△は増加)	207,654	60,968
仕入債務の増減額(△は減少)	△43,625	△7,599
前受金の増減額(△は減少)	△259,039	△86,052
その他の負債の増減額(△は減少)	5,967	△67,877
その他	△778	△84
小計	300,496	376,536
利息及び配当金の受取額	8,210	9,234
利息の支払額	△72,940	△75,478
法人税等の支払額	△24,840	△9,281
営業活動によるキャッシュ・フロー	210,926	301,011
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,908	—
有形固定資産の取得による支出	△20,295	△2,432,414
有形固定資産の売却による収入	—	903,172
投資有価証券の取得による支出	△2,113	△1,799
貸付けによる支出	—	△2,000
貸付金の回収による収入	800	980
その他	△72	5,050
投資活動によるキャッシュ・フロー	△23,588	△1,527,010
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	10,000	△10,000
長期借入れによる収入	—	1,277,936
長期借入金の返済による支出	△278,670	△355,080
支払手数料	△30,779	△21,483
配当金の支払額	△57,267	△256
少数株主への配当金の支払額	△1,480	△1,480
その他	△102	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△358,300	889,636
現金及び現金同等物に係る換算差額	△28,829	23,618
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△199,792	△312,744
現金及び現金同等物の期首残高	1,954,606	1,862,533
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,754,814	1,549,789

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	外航海運業	内航海運業	不動産賃貸業	合計		
営業収益						
外部顧客への営業収益	2,845,472	594,042	72,688	3,512,203	—	3,512,203
セグメント間の内部営業 収益又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,845,472	594,042	72,688	3,512,203	—	3,512,203
セグメント利益又は損失(△)	130,591	83,888	21,117	235,598	△264,344	△28,746

(注) 1 セグメント利益の調整額△264,344千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用で、提出会社の一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	外航海運業	内航海運業	不動産賃貸業	合計		
営業収益						
外部顧客への営業収益	3,014,577	258,492	73,575	3,346,644	—	3,346,644
セグメント間の内部営業 収益又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	3,014,577	258,492	73,575	3,346,644	—	3,346,644
セグメント利益又は損失(△)	418,613	△44,732	26,727	400,608	△263,857	136,750

(注) 1 セグメント利益の調整額△263,857千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用で、提出会社の一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する情報

前第3四半期連結累計期間より、従来「その他」に含まれていた「不動産賃貸業」について量的な重要性が増したため報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、当第2四半期連結累計期間の比較情報として開示した前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の報告セグメントにより作成しており、前連結会計年度の第2四半期連結累計期間に開示した報告セグメントとの間に相違が見られます。